

すべての答えは 住民の声にある

■10月31日開催

住民との意見交換会

議会広報公聴常任委員会では、議会だよりの編集と公聴を担っており、住民と議会の懸け橋となる重要な役割を担っています。

そこで、読み手である住民の視点を大切にしたいです。紙面づくり改革を検討してまいります。まず始めなければならぬことは、住民の皆さまの声を聞くこととであり、議会だよりについて、住民との意見交換会を開催しました。

ご参加いただいた8名の皆さま、ご意見ありがとうございました。

今回は紙面の関係上、一部抜粋して掲載しています。いただいたご意見を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。



▲意見交換会の報告書はこちら

議会や議員の活動が見えにくい。

一般質問のタイトルが横書きなのに、小見出しが縦書きで分かりにくい。



読み手の視点を取り入れることはとても大切だと思う。そういう意味で素晴らしい一歩。

ざっくばらんに意見が出ていて良い機会だった。

委員会の動きのページに専門用語が多く複雑で理解しにくい。



表紙写真に対しての詳しい説明が欲しい。



文章を6段から4段にするなど、読みやすいレイアウトにしては？



予算と決算のページを、もう少し議会目線で載せては？

みんなでつくる議会だよりに

ご参加いただいた皆さま (50音順)
 在間さん、市川さん、桑原さん、杉原さん、藤原さん、松下さん、丸尾さん、山本さん